

# 皮革業界総合研修

## 後期コース

### 〈募集案内〉

平成25年度の皮革業界総合研修〈後期コース〉のご案内を申し上げます。

この研修は、皮革関連産業の振興のため、大阪皮革関連業界懇談会の協賛を得て、昭和56年から大阪府等が実施しているものです。関連企業の経営者並びに従業員の方々に最新の業界の動向やトレンド、あるいは実践的な経営の知識等を身につけていただけるよう、時流にあったテーマで各界の著名な講師を招いて実施しています。

工場見学なども取り入れて、幅広い知識等を身に付けていただけるよう企画いたしましたので、奮ってご参加ください。

多くの方々の受講をお待ちしております。

主 催 大 阪 府  
近 畿 経 済 産 業 局

共 催 (地独)大阪府立産業技術総合研究所 皮革試験所

## 後期コース（経営管理、製革技術 関係）内容

日 時	テーマ	講 師 (敬称略)	内 容	場 所	定員
1/22 (水) 18:30から 20:30まで	靴工房を立ち上げる ということ ～「靴作りブーム」と 呼ばれた時代を経て、 独立へ～	Shoe Scape 代表/職人 萩原 弘之	「靴作りブーム」と呼ばれた時代。靴を作りたいという若者が増え、靴学校への受験者が8-9倍にもなった時代がありました。萩原氏が浅草で靴作りに没頭していた頃は、靴業界が再び盛り上がりつつあった、そんな時代でした。 東京でデザイン・製靴技術を学び、京都で「Shoe Scape」というブランドを立ち上げるまでの道のり、萩原氏が考えるオーダーメイドシューズとは何か、そして独立してからの成功話や苦労話など様々な経験談を語っていただきます。	西成区民 センター 会議室 2-1	50名
2/4 (火) 10:00から 12:30まで  ※皮革工場 見学研修	皮革の出来るまで [講義&工場見学]	株式会社山陽 営業企画室室長 塩田 和也	創業百年の国内有数の大手タンナーで、充実した設備機器を保有し、原料皮から仕上げまで一貫生産をしています。主要製品は、①クロム鞣しからの一般甲革及びかばん・袋物・ベルト用革、②タンニン鞣しからの一般甲革及びかばん袋物革となっています。また、「日本の環境」に適合した機能性を付加するため、透湿防水革、エコレザー、クールレザー、耐光(候)・抗菌防臭革等も製造・加工しています。	兵庫県 姫路市	30名
2/5 (水) 18:30から 20:30まで	靴業界の今後について	株式会社イーオ 代表取締役 大山 一哲	製造～企画～営業まで、これまで積まれてきた様々な経験をベースに靴業界の成功事例や、今後の靴事業展開の可能性を紹介します。 また、ご来店のお客様の動きから心理を読み取る方法や、その対応方法について実践を交えたワークショップ形式も交えながらの研修を行います。	西成区民 センター 会議室 2-1	50名
2/7 (金) 18:30から 20:30まで	海外見本市事情から 読み解く小売市場の 構造変化	靴ジャーナリスト 大谷 知子	靴を代表する国際見本市MICAM（伊・ミラノ）、GDS（独・デュッセルドルフ）は、共に、2014年下期開催から会期が大幅に変更になります。その背景には小売市場の構造変化が考えられます。 その変化とは何なのかを明らかにし、日本の靴市場に置き換え、これから何をすべきなのかを検討します。併せて向見本市で取材した2014年春夏商品をスライドで紹介し、2014年春夏シューズ・ファッション・トレンドを整理します。	西成区民 センター 会議室 2-1	50名
2/14 (金) 13:30から 16:30まで	人工毛皮（フェイク ファー）の基礎と 実際	和歌山県 工業技術センター 大萩 成男	人工毛皮（フェイクファー）は、衣料をはじめ、インテリア用品、ぬいぐるみ、その他アクセサリー小物など、我々の身近で広く使用されています。しかし、その製造法や性質については、意外と知られていません。フェイクファーの創生から現在に至る流れ、製造方法、構造、性質、手入れ方法、天然毛皮との違いなどについて説明・解説します。また、フェイクファーを実際に触れて、風合いなどを体感して頂きます。	西成区民 センター 会議室 2-1	50名
	天然毛皮の基礎と 実際	地方独立行政法人 大阪府立産業技術 総合研究所 皮革試験所 奥村 章	天然毛皮は、防寒用素材、ステイタス・シンボル、そして優れたファッション性と癒し感を与える、人工・合成素材では得られない魅力ある天然素材です。しかし、毛皮の特性は、あまり知られておらず、その取扱いに関してトラブルなどが発生しています。 動物毛の知識、毛皮の特性（長所・短所）、製造方法・縫製方法、手入れ方法などについて説明・解説します。また、各種の天然毛皮を実際に触れて、毛皮の魅力を体感して頂きます。		

# 講師プロフィール

(敬称略)

## 萩原 弘之 <Shoe Scape代表/職人>

1980年、京都府生まれ。滋賀県立大学環境・建築デザイン科にてデザイン・モノ創りを学ぶ。在学中に浅草で手製の靴作りに出会い、手製靴の世界に魅了される。整形靴の工房にてアシスタントを経験。大学卒業後、靴小売業界を経て、靴作りを追求するため上京。東京都立足立技術専門校台東分校 製くつ科を卒業。2006年モノづくりフェアにて東京都技能士会連合会会長賞を受賞。某シューメーカーにて企画デザイナーを経験した後、複数の熟練職人から製靴技術を学ぶ。2010年、京都にビスポークシューメーカー『Shoe Scape』設立し、オーダーメイドシューズや革小物を制作。様々な個展活動を通じて、靴における表現の可能性を模索、提案している。

## 塩田 和也 <株式会社 山陽 営業企画室 室長>

1964年生まれ。大阪府出身。大学で畜産学を学び、1990年(株)山陽に入社して以降、主に革の仕上げ部門に携わり、商品開発及び生産管理を担当。現在、仕上げ部門に従事しながら、営業企画室に在籍し、新商品の開発、新規顧客の開発を担当し、顧客のご要望に応える営業部隊のトップとして活躍中。

## 大山 一哲 <株式会社 イーオ 代表取締役>

1972年、大阪府生まれ。エスペランサ靴学院卒業後、更なる向上のためイタリアへ渡り、ミラノにある靴学校へ留学。本場の靴職人の技を学び卒業。帰国後、製造・企画・営業と、靴の仕事に関する全ての現場を経験し、1994年、大阪ミナミのアメリカ村にてシューズラボ「c' (シーダッシュ)」をオープン。そこで自身の靴ブランド「ittetsu oyama」を発表。その後、コレクションシューズ等も多数手掛け、1998年、有限会社ビッグマウンテンを設立。2013年、コンサルタント会社株式会社イーオを新たに設立。現在は大阪で靴講座や講演会などの講師を務め、活動内容を広げると共に、次世代の靴業界を担う若者の育成にも積極的に取り組んでいる。

## 大谷 知子 <靴ジャーナリスト>

1953年、埼玉県生まれ。編集プロダクションを経て、靴業界誌を発行する、ぜんしん(現エフワークス)に入社。15年間に渡り、編集・取材記者として勤める。1993年に同社退社後、フリーに。1996年、靴のカルチャーマガジン「シューフィル」の立ち上げに参加。また2007年、シューフィルから靴インダストリアル・フリーペーパー「シューフィルザッツ」を創刊。両紙誌を媒体に取材・執筆活動を行ってきたが、2011年秋、シューフィルを退社。現在は、自身のウェブサイト「Obring <http://obring.jp>」を運営しながら、他紙誌にも執筆するなど、靴ジャーナリストとして、文化から産業事情まで幅広い分野で取材活動をしている。著書に「子供靴はこんなに怖い」「百靴事典」がある。

## 大萩 成男 <和歌山県工業技術センター>

1976年に和歌山県工業技術センター入所、繊維系の部署に配属。主として、繊維、皮革、日用雑貨などの関連業界の技術支援を担当し、現在に至る。その間、産学官連携による共同研究開発事業などにも取り組む。そうした業務の中で、フェイクファーに関わるものづくりや天然毛皮との違いなどについて検討を実施した。専門分野は色彩応用技術・染色加工。

## 奥村 章 <地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所皮革試験所>

1972年に大阪府立工業奨励館(現産業技術総合研究所)皮革試験所に勤務して以来、41年間、皮革と毛皮に関する専門家として現在に至る。専門は皮革・毛皮の材料学、製造技術、消費性能、クレーム解明、皮革・毛の形態学研究など。

# 開催要領【後期コース】

## 1 と き

平成 26 年 1 月 22 日（水）～2 月 14 日（金） [詳細日程・時間等の詳細は内容に記載]

## 2 と ころ

大阪市立西成区民センター 大阪市西成区岸里 1 丁目 1-50 [略図参照]  
電 話 06-6651-1131 (代)

※皮革工場見学研修(2月4日(火)開催)について

詳細な見学要領は、受講決定者に直接連絡いたします。

集合：午前 9 時 50 までに現地に集合してください。

見学先場所：株式会社 山陽 (姫路市東郷町 43 番地)

経路：JR 姫路駅で神姫バスに乗換え、神姫バス小川橋西詰下車、徒歩すぐ。自家用車可。

◇◆申込み後、やむを得ず、参加できない時は

大阪府立産業技術総合研究所皮革試験所(06-6389-2632)まで、必ずご連絡ください  
(貴重な機会ですので、キャンセル待ちの方に参加していただきます。)

## 3 受講対象者

大阪府内皮革関連業界の経営者並びにその従業員

※皮革工場見学研修は、大阪府内の中小事業所の方のみとし、1社あたり2名までとさせていただきます。  
また、同業者の方はご遠慮ください。

## 4 定 員

50名[講演会]、30名[皮革工場見学研修]

先着順で受付し、定員になり次第締め切らせていただきます。

受講票は発行しませんので、定員に達した旨の連絡がない限り、当日申し込んだ研修会場にお越しください。

## 5 受 講 料

無 料。ただし、研修会場までの交通費等については、自己負担とします。

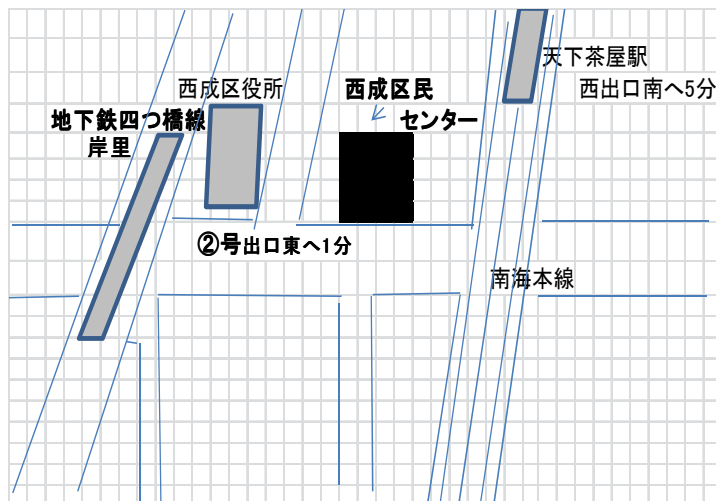
## 6 受講手続

受講希望者は、別添申込書により大阪府商工労働部中小企業支援室商業・サービス産業課あて、  
郵送またはファックス(FAX:06-6210-9504)にてお申し込みください。

## 7 修了証書

5講座中3講座以上出席した方に修了証書を交付します。

### <研修会場> 大阪市立西成区民センター



### <問い合わせ先>

〒559-8555

大阪市住之江区南港北 1-14-16

大阪府咲洲庁舎 25 階

大阪府 商工労働部 中小企業支援室

商業・サービス産業課

商業振興グループ 稲山・黒石

TEL 06-6210-9496

Fax 06-6210-9504

ものづくり支援課

製造業振興グループ 枅谷・平田

TEL 06-6748-1050

### ※皮革工場見学研修について

地方独立行政法人

大阪府立産業技術総合研究所

皮革試験所 奥村・道志

TEL 06-6389-2632